

自分のための教育とは？

片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

あなたはあなた自身に どんな教育を受けさせたい？

片桐英数塾通信もどうやら、いつの間にかやら一五〇号を超え、今月号で一五二号となるようです。このころ、今書いている「片桐英数塾通信」が何号かなど全く気にせず書いていたもので、一五〇号のメモリアルのころなどすっかりさっぱり忘れてしまっていました。しかし、それにしても、もう十二年半以上も書き続けているのですね……。

十二年と言いますと、「片桐英数塾」の最初の年の高三だった子らは今年で三十三歳です。失礼ながら「もうそんなことになるの？」と驚いてしまいます。風の便りに「結婚した」とか「子供が産まれた」とかおめでたい話も耳にするようになりまし。そんな話を聞くたびに、昔のことを思い出してはしみじみとしています。

「片桐英数塾」をうちの家族で始めた当初、それは二〇〇六年なのですが、その頃は「ゆとり教育」という言葉が盛んに言われていました。たとえば「円周率がおよそ3.14」という問題視されたりもしました。当時、私は「そうか、ゆとり教育」というものには弊害があるのだなというような、世間一般的な認識しか持っていないものでした。しかし、当時の高三生だった男の子から「自分たちは自分たちの受けている教育をゆとり教育だとは思っていない。大人たちが勝手に決めて子供たちにやらせていることで、

それを勝手に大人たちがゆとり教育だと言い、僕らの世代をゆとり世代だと騒ぎ立てているだけだ。正直、腹が立ちます」という、至極まっとうな意見を聞かされて、随分と自分の中で考え方が変わったのを思い出します。その時、彼と話していた思い出したのは、私が高校生だった頃、当時の大人たちは、自分たちの理解できない当時の若者たちを差し「新人類」と呼んでいたことです。その言葉は良い意味でも使われていたとは思いますが、どちらかというと悪い意味で使われることが多かったように思います。昔も今も変わりなく、大人目線から若者を見ると、批判めいた見方をする人が多いのかな、と思います。もしかすると、大人には無意識に自分を正当化するために、若者に対してそのようなレッテルを貼りがちなのがあるのかもしれない。

先ほどの「ゆとり教育」の話ですが、最近になりこの発端を知りました。教科書が変わり、算数の教科書の中に「円周率は3.14だが、およそ3でも良い」というようなニュアンスのことが書かれてあったことを問題視し、都会の大手塾がその一点を誇張して大々的に広告を打ったことに始まるようです。「円周率がおよそ3などという教育で良いのですか？塾に通わせなくて良いのですか？」というようなことだったようです。ちょうどその頃、PISAと呼ばれる世界的な学習到達度テストで、日本の学生の成績が下降していることが問題となり、それが「ゆとり教育」批判にさらに火をつけることにもなりました。その後、「ゆとり教育」なるものは見直され、そして、さらなる改革に向かって行こうとしているのが現在です。

もし、自分の意思で自分が受ける教育を自分で決められるとしたらどんな教育を受けたいですか？まだ若く、社会や世界がどうなっているのかも分からない中で、そんなこと想像もつかないと思います。自分の好きな教科に特化したいとか、幅広く多くのことを知りたいとか、楽しいことだけを学びたいとか、効率的に何を学ばせたいとか、それぞれいろいろな考えがあるかと思いますが、私の思う究極の教育というのは、自分が受ける教育を自分で考えて自由に受講するというもので、これはあくまで理想です。先ほども書きました、自分が何を学ぶべきかを正確に判断することもできない、理想も現実可能性はゼロであることは間違いありません。

では「もしあなたがたたらどうなの？」と聞かれたら、私ならば「私がもし小学生なら、たくさん本を読みみたいです。ありきたりですが、英語はプレッシャーの少ない状況で、音とリズムと意味を合わせ、少々の理屈を小学生の頃からやっている」と良いと思います。ただ、「文法は一切教えない。教えてはいけません」とか「聞き流すだけ」というような教材もありますが、それはどうなの？と思ってしまう。実際に、今、「こども英語」で小学生に英語を教えています。音の塊と意味を繋げるまでは驚くほどスムーズに小学生はこなしますが、パターンから外れたものがくると立ち止まってしまいます。音だけでは覚えただけで、応用できないため、先で伸ばすためには少々の理屈も伴わないといけません。文法という法則が理屈として分かっているといと先に進めないものだと思います。



映像授業で万全の入試対策を！

高2生にとっては、受験本番まで1年を切りました。年間計画を今一度見直すときです。「理科が分からなくなってきた」「現代文、古典が苦手」「社会科目を先取り学習しておきたい」など、様々なニーズに応じて選択できます。授業後のアウトプット学習を徹底することで、着実に「得点力」を鍛え上げていきます。受講相談受付中！



片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の2月のお休みは、
3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)です。

坂本教室の駐車場への出入り口が
広くなりました。送り迎えの際、
表示にしたがって徐行運転でお進
みくださいますよう、ご協力をよろしくお願ひ致します。

塾生の皆さんLINE登録をお願いします。
HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>



塾生の皆さんでLINE登録がまだの方は、こちらのQRコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などLINEでいつでも受付けています。ご協力よろしくお願いいたします。

受講生募集 英語

中学生になり、いよいよ本格的な英語が始まります。話すためには書くことが大切だと考えています。コツコツと進んでいくのが語学学習の基本です。その基本を楽しみながら身に付けていきましょう。

算数・数学

クイズやパズルなども利用して「考える」ことを楽しみながら学習していきます。中学数学においても重要な「割合」「速さ」「図形」に関する問題など、小学校で習っている算数を総復習！さらなる計算力の向上も目指しながら確かな力をつけていきます！中1で学習する単元の先取り学習も行います。

月謝：7,560円(税込)

開講日：土曜日16時半～18時半

土曜日の参加が難しい場合はご相談ください

新中1準備講座

小6生
対象

国語

「文を読む力」「文を書く力」は、どの教科にも必要な大切な力です。国語の力を伸ばすことは、簡単に短期間で出来ることではありません。本を読んだり、作文を書いたりするなど、普段から意識して毎日の学習に取り入れましょう。この講座では、文章を論理的に読み解く力を鍛えていきます。

受験生のみならず！

いよいよ受験本番です！

日頃の体調管理に十分注意し、
万全の体調で受験に臨みましょう！！